校花(ひまわり)

#### 甲府市立伊勢小学校学校だより

NO.9 平成30年12月25日



#### 学校教育目標

夢を持ち続けながら進んで学ぶ, 心豊かでたくましい子どもの育成

文青 校長 小林



### 究實した30回間!! 新しい年に向めて



80日間の二学期も明日は終業式。学校では一番長い学期が終わります。振り返れば、厳しい残暑の中で始まった2学期でした。また、天候の変化に対応しながら取り組んだ「秋季運動会」、貴重な体験を通して多くのことを学んだ各学年の「校外学習」、一人一人が力を出し切った6年生の「甲府市小学校陸上記録測定会」、さらには、みんなで楽しんだ児童会の最大行事である「伊勢っ子フェスタ」など、地域の皆さんとも触れ合いながら、伊勢っ子一人一人が主人公となって一生懸命がんばり充実した日々を送ることができました。そして日々の学習活動や係・委員会活動、また友だちとの遊びを通して、自主性や責任感、他者を思いやる心や協力する心等、確かな成長を実感できた2学期になりました。改めて、子供たちの姿から、子どもたちの持つ可能性や創造性を再認識させられるとともに、時にはトラブルになることもありましたが、他者とふれ合う中で、体験を通して他者への思いやりの気持ちをお互いに育てていく姿に、伊勢っ子のすばらしさを感じました。

2学期は、保護者の皆様方に学校にきていただく機会が多かったのですが、その都度、温かいご支援・ご協力を賜りありがとうございました。皆様方に参観していただくことで、子どもたちも教職員も元気が出てがんばることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、明日12月27日(木)より1月8日(火)まで、冬休みとなります。各学級においても、生活上の留意点について指導いたしましたが、健康と安全に気をつけて、楽しい年末年始をお過ごしください。年末から年始にかけては、伝統的な習慣や社会的行事が多くあります。是非いろいろなことを体験させ、それらの意味を教えていただきたいと思います。また、家族一緒に過ごす時間を意図的に多くし、ふれ合いを深めるとともに家族の一員である自覚を身につけさせるようにお願いします。子どもたちが心身ともに健康で、楽しく充実した冬休みを過ごせますよう、また、新たな夢や希望を持って新年が迎えられますようご支援、ご配慮をお願いいたします。

●1月9日(水)は始業式。元気に3学期が出発できるようにしましょう。

# イット依存の危険性と情報モラルの大切さ

近年小学生においても スマートフォンの所有率 は増加するとともに,低 学年の所有率も増加して



います。そのような中で、「ネット依存」や「ネット犯罪」「ネットを介した他者とのトラブル」も急増してきています。学校においては、企業や山梨県警察本部生活安全課より講師を招いて、高学年児童や保護者を対象に、安全な利用の仕方について講習会を実施したところです。

しかしながら、子どもたちが、いくら知識を学んでも、小学生ではなかなか自己管理できない面があります。だからこそ、今、最も必要とされることは、「情報機器(スマホやタブレット)で、子どもが何をしているのか」を絶えず把握するために、保護者の責任として、子どもの使用状況を常に確認することです。子どものプライバシーを守るという面も大切ですが、特別な事情がないかぎり小学生にスマートフォンは必要でしょうか。持たせることは当然、保護者のご判断であり、スマートフォンは便利な情報機器ですが、スマートフォン等を持つとしたら、親の責任において、きちんとした約束のもとに管理することも必要ではないでしょうか。

例えば、他県のある市では、以前から過度なスマートフォンの使用を防ぐため、次のような取組を進めた結果、家庭での勉強時間が増えたり、子ども同士のトラブルが減ったという報告もあります。

- ○必要のないスマホや携帯を子どもに持たせない。
- ○契約に関しては、「フィルタリングサービス」に加入する。
- ○家族のいるところで使用させ、自室には持ち込まない。
- ○食事中は使用禁止。
- ○午後9時以降は、保護者が預かる。
- $\bigcirc$ 1日の使用時間は1時間以内。 などがあります。

進級・進学を控えたこの時期に、子供たちの安心・安全な生活のため、例えば、スマートフォンの 必要性の有無や、スマートフォンを使うのならば、機器にはロックをかけないとか、パスワードを親 に知らせて使うなど約束について、親子でしっかりと話し合っていただけたらと思います。

## 数科化已成功,道德民生多变为与是分介

昭和33年に、国は、子どもたちの心を育てる教育である道徳教育を学校教育活動全体を通じて行うこととし、道徳教育をしっかり行っていくために、小学校に、週1単位時間の「道徳の時間」を特別につくりました。その後も何度かの改正を経る中で、小学校においては、平成30年度から、道徳の時間を「特別の教科道徳(道徳科)」として、



国語や算数のような教科の一つとして位置付け,教科書を使って,子ども一人一人のよさを伸ばし成長 を促していくこととしました。

小学校の道徳科の目標としては、「よりよく生きるための基盤となる<u>道徳性</u>を養うため、<u>道徳的諸価値</u>についての理解を基に、<u>自己を見つめ</u>、物事を<u>多面的・多角的</u>に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、<u>道徳的な判断力</u>、心情、<u>実践意欲と態度</u>を育てる。」となっています。具体的な内容としては、例えば、「親切、思いやり」や「生命の尊さ」などの項目(道徳的価値)を学んでいくこととなります。目標を見ると、難しい言葉が並んでいますが、「いじめ問題」にみられるような、今の子どもたちに関する課題への対応や、変化の激しいこれからの社会を主体的に生きていく子どもたち一人一人が、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向(社会)を創造できる資質・能力を備えることが重要であるからこそ、道徳の教科化がなされたと言えます。

これまでの「道徳の時間」と大きく変わる点は、まず、道徳科においては「教科書」が今年度から使用されていることです。ぜひご家庭においても、お子さんと一緒に教科書をご覧になってください。そして、一緒に人間の「生き方」、「考え方」「価値」について話し合っていただけたら嬉しく思います。学校では、読み物資料の活用や、問題解決的な学習、体験的な学習を通した学びなど、質の高い多様な指導方法を取り入れた授業を展開するよう努めています。具体的には、こんな場面では「自分ならどうするか」という、自分の見方や考え方から道徳的価値と向き合うとともに、自分の考えを一方的に決めつけるのではなく、自分とは異なる意見の友達と十分に話し合うことを通して、様々に考えることを大切にしています。また、友達と、こんな時は、こうしたらいいと具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、様々な考え方の違いや価値観の違いに気づくことを通して、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深められるように学習を進めています。

また,道徳科の評価については、次のような内容に留意しながら行っておりますので、学校から持たせる通信表の見方についても参考にしていただけたらと思います。

- ○数値による評価ではなく、記述式で行います。
- ○他の児童生徒との比較による相対評価ではなく,児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め,励ます個人内評価として行います。

### 1 1

- 9日(水) 3学期始業式 FET学校訪問
- 10日(木) きずなの日 給食開始 登校指導 発育測定5・6年 児童会選挙立候補受付
- 11日(金) 発育測定3・4年 児童会選挙退候補受付 第4回学校委員会
- 14日(月) 成人の日
- 15 日 (火) 委員会活動® 代表委員会 発育測定1・2年 あさがお運動~18 日



- 16 日 (水) 職員会議 学校集会 (学級役員認証式) 児童会役員選挙運動 ~ 23 日
- 21日(月) きずなの日
- 22 日 (火) 児童会役員選挙リハーサル
- 23 日 (水) 校内研 FET学校訪問
- 24 日 (木) 児童会役員選挙立会演説会·投開票
- 25 日(金) 新入児保護者説明会 児童会役員選挙結果告示
- 28日(月) なわとび優先週間~2/5(昼休み)
- 29 日 (火) 甲教協
- 30 日 (水) FET学校訪問

たてわり写真撮影(30・31 日)

※新年の目標を立てましょう!